

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	青森県	市町村名	横浜町
プロジェクト名	学校教育支援事業		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要)</p> <p>1. 横浜町の次代を担う中学生に対し、外国の自然や文化を見聞し、外国での生活を通じて国際感覚を養い、もって中学校における国際社会の理解と教育の推進に資することを目的とする。</p> <p>2. 不登校生徒への対応のため、学校生活相談員を配置し、学校で対応できない家庭訪問や学習支援等を実施することにより、学校生活の充実を図ることを目的とする。</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <p>1. 21世紀を担う人材育成をテーマとした報告会を実施することにより、国際化時代に活躍できる健康で想像力に富み、かつ広い視野を持って町づくりに寄与できる若い人材の育成が期待できる。 《平成18年度0人を平成21年度には12人を目指す。》</p> <p>2. 学校生活相談員を常備配置することにより、不登校生徒への迅速な対応と問題の解決が図られ、自立と学校への早期復帰を支援できる。 《平成18年度8人の5.4%(全生徒147人に対する不登校生徒比率)を平成21年度には3人の2.1%を目指す。》</p>		
プロジェクトの期間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑪
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	ホームページによる公表 ホームページアドレス: www.yokohama.e-shimokita.jp/soumu/ganbaruprogramproject.pdf		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	事業費 (単位: 千円)	
中学生海外体験学習実施事業	アメリカ合衆国・カリフォルニア州での交流体験及びホームステイ等を実施するために中学生を派遣する。	7, 290 (2, 430)	
学校相談員活動事業	不登校生徒に対する家庭訪問・相談及び学習支援を実施するため学校生活相談員を配置する。	2, 460 (820)	
総 計		9, 750 (3, 250)	
その他特記事項			

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	青森県	市町村名	横浜町
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	電算システム導入事業		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目的、概要) 電算事務のほとんどを他市町村に委託していたが、機器の老朽化により電算業務の委託継続が困難になってきたことに伴い、町単独で電算システムを導入することにより、セキュリティ対策に万全を期すこと及び業務の簡素化に伴う職員の削減が図られることを目的とする。		
	(具体的な成果目標) 電算システム導入により、住民サービスの向上と一般職員の削減が期待できる。 《平成18年度の一般職員数80名を平成21年度には一般職員73名と7名の削減を目指す。》		
プロジェクトの期間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (①～⑫)	①
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	ホームページによる公表 ホームページアドレス: www.yokohama.e-shimokita.jp/soumu/ganbaruprogramproject.pdf		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	事業費 (単位：千円)	
電算システム導入事業	電算システム一式のリース料 2,428千円/月×12ヶ月×3年=87,408千円	87,408 (29,136)	
総計		87,408 (29,136)	
その他特記事項			

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	青森県	市町村名	横浜町
プロジェクト名	ふるさとよこはま活力ある町づくり事業		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 横浜町は海、原、山の自然環境に恵まれ、そこから様々な産物が生まれ多様な産物を生産しているが規模が小さいため販路を拡大する必要がある。そこで、地域の独自性をイメージ面から作り出していくため、広大な作付面積を誇る菜の花畑をステージにイベントを展開し、地域資源の発掘と特産品の開発を主としながら、地域経済の活性化を推進するとともに、ふるさとよこはまを元気ある町にし、あわせて、町のイメージアップを図り町民が仲良く住みよい町づくりを目指すことを目的とする。</p> <p>(具体的な成果目標) 菜の花フェスティバル並びによこはま夏まつりを実施することによる入り込み客数の増加を図る。</p> <p>平成18年度の入り込み客数43,600人を平成21年度には55,000人の客数を目指す。</p>		
プロジェクトの期間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑥
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	<p>ホームページによる公表 ホームページアドレス: www.yokohama.e-shimokita.jp/soumu/ganbaruprogramproject.pdf</p>		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	事業費 (単位: 千円)	
菜の花フェスティバルinよこはま	大豆田地区の菜の花畑をメイン会場 時期:5月第3土曜日・日曜日 菜の花マラソン、菜の花大迷路、菜の花モデル撮影会、特産物の販売	35,013 (11,671)	
よこはま夏まつり	三保野公園並びに横浜漁港を会場に実施 時期8月中旬 いも煮会、魚のつかみどり大会、よこはまYOSAKOIパレード、花火大会	15,966 (5,322)	
総 計		50,979 (16,993)	
その他特記事項			

(目次) 頑張る地方応援プログラム

都道府県名	団体コード	市区町村名	プロジェクト名称	プロジェクトの目的、概要 及び 具体的な成果目標	プロジェクト 期間	具体の事業・施策(名称)	事業費 (計画全体) (単位:千円)	事業費 (平成19年度) (単位:千円)	政策分野の分類 (①~⑪)	新規・変更の区分
青森県	002406	横浜町	学校教育支援事業	<p>(目的、概要)</p> <p>1. 横浜町の次代を担う中学生に対し、外国の自然や文化を見聞し、外国での生活を通じて国際感覚を養い、もって中学校における国際社会の理解と教育の推進に資することを目的とする。</p> <p>2. 不登校生徒への対応のため、学校生活相談員を配置し、学校で対応できない家庭訪問や学習支援等を実施することにより、学校生活の充実を図ることを目的とする。</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <p>1. 21世紀を担う人材育成をテーマとした報告会を実施することにより、国際化時代に活躍できる健康で想像力に富み、かつ広い視野を持って町づくりに寄与できる若い人材の育成が期待できる。 平成18年度0人を平成21年度には12人(4人/年×3年)を目指す。</p> <p>2. 学校生活相談員を常備配置することにより、不登校生徒への迅速な対応と問題の解決が図られ、自立と学校への早期復帰を支援できる。 平成18年度8人の5.4%(全生徒147人に対する不登校生徒比率)を平成21年度には3人の2.1%を目指す。</p>	平成19年度 ～ 平成21年度	1. 中学校海外体験学習実施事業	7,290	2,430	11	新規
						アメリカ合衆国・カリフォルニア州での交流体験及びホームステイ等を実施するために中学生を派遣する。				
						2. 学校相談新活動事業	2,460	820		
			不登校生徒に対する家庭訪問・相談及び学習支援を実施するため、学校生活相談員を配置する。							
						総 計	9,750	3,250		
ホームページアドレス(ある場合のみ) www.yokohama.e-shimokita.jp/soumu/ganbaruprogramproject.pdf										
青森県	002406	横浜町	電算システム導入事業	<p>(目的、概要)</p> <p>電算事務のほとんどを他市町村に委託してきたが、機器の老朽化により電算事務の委託継続が困難になってきたことに伴い、町単独で電算システムを導入することにより、セキュリティ対策に万全を期すこと及び業務の簡素化に伴う職員の削減が図られることを目的とする。</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <p>電算システム導入により、住民サービスの向上と一般職員の削減が期待できる。 平成18年度の一般職員数80人を平成21年度には73人と7人の削減を目指す。</p>	平成19年度 ～ 平成21年度	電算システム導入事業	87,408	29,136	1	新規
						電算システム一式のリース料				
						総 計	87,408	29,136		
ホームページアドレス(ある場合のみ) www.yokohama.e-shimokita.jp/soumu/ganbaruprogramproject.pdf										
青森県	002406	横浜町	ふるさとよこはま活力ある町づくり事業	<p>(目的、概要)</p> <p>横浜町は海、原、山の自然環境に恵まれ、そこから様々な産物が生まれ多様な特産物を生産しているが規模が小さいため販路を拡大する必要がある。そこで、地域の独自性をイメージから作り出していくため、広大な作付面積を誇る菜の花畑をステージにイベントを展開し、地域資源の発掘と特産品の開発を主としながら、地域経済の活性化を推進するとともに、ふるさとよこはまを元気ある町にし、あわせて町のイメージアップを図り町民が仲良く住みよい町づくりを目指すことを目的とする。</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <p>菜の花フェスティバル並びによこはま夏まつりを実施することによる入り込み客数の増加を図る。 平成18年度の入込み客数43,600人を平成21年度には55,000人の入り込み客数を目指す。</p>	平成19年度 ～ 平成21年度	1. 菜の花フェスティバルよこはまの開催	35,013	11,671	6	新規
						菜の花マラソン、菜の花大迷路、菜の花モデル撮影会 特産品の販売				
						2. よこはま夏まつりの開催				
			いも煮会、魚のつかみどり大会、よこはまYOSAKOIパレード、花火大会	15,966	5,322					
						総 計	50,979	16,993		
ホームページアドレス(ある場合のみ) www.yokohama.e-shimokita.jp/soumu/ganbaruprogramproject.pdf										

※1 「プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標」欄は、個票から適宜要約してください。
 ※2 「プロジェクトの期間」欄は、プロジェクトを構成する事業・施策の計画年度をもとに記入してください。
 ※3 「政策分野の分類」欄には、以下の1～11のいずれか1つを記入してください。なお、複数の政策分野に重複すると考えられる場合は、各地方公共団体の判断により、最も近いものを記入してください。
 1 地域経営改革プロジェクト、2 地場産品発掘・ブランド化プロジェクト、3 少子化対策プロジェクト、4 企業立地促進プロジェクト、5 定住促進プロジェクト、6 観光振興・交流プロジェクト、7 まちなか再生プロジェクト、8 若者自立支援プロジェクト、9 安心・安全なまちづくりプロジェクト、10 環境保全プロジェクト、11 その他
 なお、「丸付き数字」等は用いず、「半角数字のみ」を記入してください。
 ※4 「事業費」欄は、総事業費を記入してください。
 ※5 「団体コード」欄には、6桁の地方公共団体コードを半角数字で記入してください。
 ※6 「新規・変更の区分」欄には、総務省ホームページ上に掲載されているプロジェクトについて変更を行ったプロジェクトの場合には「変更分」、新たに策定したプロジェクトの場合には「新規分」と記入してください。
 ※7 「ホームページアドレス(ある場合のみ)」の文字は削除した上で、ホームページアドレスを記入してください。